

# 臨床研修医 募集2021



多野藤岡医療事務市町村組合

公立藤岡総合病院

## 1. プログラムの特徴（予定）

|      |      |   |     |   |   |   |    |   |   |    |    |    |    |
|------|------|---|-----|---|---|---|----|---|---|----|----|----|----|
| 週    | 4    | 4 | 4   | 5 | 4 | 5 | 4  | 4 | 4 | 5  | 5  | 4  | 4  |
| 1 年次 | 内科   |   |     |   |   |   | 救急 |   |   | 外科 | 小児 | 産婦 | 精神 |
| 2 年次 | 地域医療 |   | 選 択 |   |   |   |    |   |   |    |    |    |    |

- \* 必修科目として、内科、救急、外科、小児科、産婦人科、精神科、地域医療の7科目の研修を行う。
- \* 内科26週、救急12週、外科5週、小児科5週、産婦人科、精神科、地域医療は4週以上とする。
- \* 内科26週では、8週又は9週を1タームとし、計3ターム（内科Ⅰ：循環器・糖尿病、内科Ⅱ：呼吸器・血液、内科Ⅲ：腎臓リウマチ・消化器）の研修を行う。
- \* 救急12週では麻酔科等で研修を行う。
- \* 内科・外科・小児科では一般外来1週以上を含む。
- \* 選択科目は4週単位で研修可能とする。
- \* 地域医療は、鬼石病院か緩和ケア診療所いっぽを選択する。  
協力型病院：群馬大学医学部附属病院、群馬県立小児医療センター  
公立富岡総合病院、鬼石病院、サンピエール病院、老年病研究所附属病院  
くすの木病院

## 2. 研修病院タイプ

基幹型

## 3. 医師数/指導医数

90名 / 43名（2020年4月1日現在）

## 4. 研 修 医 数

14名（2020年4月1日現在）

## 5. 研修医の主な出身大学

群馬大学、山形大学

## 6. 採用募集人数

7名（このほか、群馬大学医学部附属病院の協力型研修病院であるため、数名の受け入れをおこなう）



## 7. 処 遇

- ・身 分
- ・給 与
- ・賞 与
- ・手 当

### 会計年度任用職員

1年次 430,000円

2年次 470,000円

年間1ヶ月（夏0.5、冬0.5）

### 時間外勤務手当

宿日直手当 1年次 15,000円

2年次 25,000円

- ・住居手当

有

- ・有給休暇

1年次10日、2年次11日

- ・特別休暇

夏季休暇5日、忌引き、結婚休暇その他

- ・学会出張

学会、研修会への参加可。費用支給あり。

- ・保 険

社会保険、厚生年金、労災保険、雇用保険

- ・医師賠償保険

病院として加入、個人加入勧める

- ・健康管理

定期健康診断実施

- ・応募書類

研修申込書、履歴書(当院ホームページよりダウンロード)、卒業(見込み)証明書

- ・申込締切日

令和2年7月31日

- ・試験実施日

令和2年8月12日・26日(予備日)

- ・試験内容

面接、小論文

- ・応募連絡先

〒375-8503 藤岡市中栗須813-1

公立藤岡総合病院 研修管理センター

TEL 0274-22-3311

E-mail [kenshuu@fujioka-hosp.or.jp](mailto:kenshuu@fujioka-hosp.or.jp)

8. 初期研修修了後の進路、当院レジデント及び、大学院レジデント、その他各方面への紹介等随時相談に応じます。



1. 対 象 医学部在学の全学年を対象

2. 日 時 火・水曜日  
午前10時～午後4時（応相談）

3. 内 容  
希望科、基本・必修科等の見学、施設の見学、研修医と懇談、質疑応答等  
担当医に付き回診参加、カンファレンス参加、救急外来見学

その他、ご相談に応じ計画致します。

※来院時に白衣、名札、聴診器を持参（昼食付）

4. 申込方法 ホームページの見学申込書をメールにてお送り下さい。

E-mail [kenshuu@fujioka-hosp.or.jp](mailto:kenshuu@fujioka-hosp.or.jp)

TEL 0274-22-3311

公立藤岡総合病院 研修管理センター





# 指導医からのメッセージ

当院は藤岡市周辺のみでなく、高崎南東部、富岡東部、さらには埼玉県北部地域を含む広範な医療圏（人口約20万人）における総合的な基幹病院として、救急医療、通常の諸疾患、小児・産婦人科、包括的ながん治療において大きな役割を担っています。当院の研修医がおしなべて洩らす感想は、各診療科の連携が円滑に行われ、機動力のある診療が行われること、診療支援部門が協力的で、忙しい仕事を楽しみながらストレスなく自然に初期研修の成果を積んでいくことができるということです。当院は研修医を基幹型7名と大学の協力型を各年度1名受け入れる予定です。この人数は研修医同士の情報交換が行いやすく、仲間意識が生まれやすく、それぞれの研修医が指導医からすぐに名前を覚えられ、各科でスタッフの一員として、実務の一端を担いながら指導を受けることができる規模です。

研修医は、指導医とともに救急当直をこなします（ひと月に3～4回）。臨床医学は教科書やマニュアルをいくら読んでも無意味であり、一例ごとの手触りを覚え、自分なりの教訓を重ね、経験の全体像を構築していくほかはありません。当院の救急病院としての慌ただしさは、急性期医療の醍醐味を味わおうとする皆さんの期待を裏切ることはないと思います。毎日、現場で動き回る一方、指導医によるミニレクチャー、県内でも有数の回数を誇る病理示説会、症例検討会、院内学術集談会、画像カンファレンス、英文抄読会等、知識を再確認し、新たな知見を獲得する機会も豊富に用意しています。また院内ICLSなどの実践訓練の機会も整備しています。急性期医療だけでなく、高齢者医療や終末期医療も幅広く含む現代の日本医療の全体像がそのまま反映されている象徴的な病院として、当院は臨床医としてのスタートを切る若い先生には、まさに格好の場所であると信じます。

意欲あふれる多くの研修医の参加を期待しています。



# 研修医へのインタビュー

## 1. 藤総を研修病院に決めた理由は何ですか。

初期臨床研修に必要なプライマリーケアの症例が豊富で、かつ高度な専門的医療も提供していること、また医師と医療スタッフの連携が円滑に行われており、総合的なケアを実践するのに最適の環境であることに魅力を感じたからです。また、病院全体、医局の雰囲気が明るく、研修医が生き生き働いていることも魅力に感じました。

## 2. 現在はどのような事を主に行っていますか

現在は産婦人科病棟で研修を行っています。入院患者さんの診察、分娩や婦人科手術の助手、胎児エコー、新生児診察など、できることは何でもさせてもらっています。また、年間を通して救急当直を行い、指導医の先生とともに来院患者さんの初期診療にあたっています。

## 3. どのような医師になりたいと考えますか。

患者さん目線で話ができる医師になりたいと思っています。忙しい業務の中で、そのような考えは理想に過ぎないのではないかと思います。始めた時に、それを実践しておられる先生方を目の前にして、その姿に近づくことはできると思うようになりました。また、良いチーム医療を実践できるよう、それぞれのコメディカル専門性をよく理解し、コミュニケーション能力を高めていきたいです。

## 4. 医学生へのメッセージをお願いします。

学生時代はやりたいことを欲張ってやることをお勧めします。豊富な経験は卒業後に必ず益となります。選択を迫られた時は、学生時代に聞いた「迷った時は難しい方を選択する」という言葉を思い出そうにしています。ぜひ後悔のない学生生活を送ってください。





## 群馬レジデントグランプリで グランプリ受賞しました。

令和元年11月10日 群馬大学にてレジデントグランプリが開催され、県内15病院の研修医発表でグランプリを受賞しました

### 【演 題】

先生！左半身麻痺があります。  
脳梗塞かもしれません・・・  
すぐ来てください



# 卒後臨床研修評価機構 認定病院です



## エクセレント賞受賞!

全国認定病院 279 病院中 **13 病院**